

---

## 指導計画案 更新版 (2020.5.22)

---

株式会社 教育芸術社

### 【本資料5月22日更新版について】

3月26日、国立教育政策研究所のホームページに、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』が公開されました。その内容を踏まえて、以下、2点を変更のうえ、更新版をアップいたします。

#### 1. 「学習指導要領の内容との関連」について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」との関わりが、より明確になるように、各領域・分野の示し方を変更いたしました。当初アップした資料では、軽重を付けずに示していましたが、今回の更新版では、【評価に関わっている】指導事項を太字で示し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を細字で示しました。

#### 2. 評価規準について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」の見直しに伴い、下記の教材については、新たに評価の観点に加わったため、評価の文章が追加されています。

■ 「茶つき」、「うさぎ」、「まほうの音楽」

### 【本資料について】

- ・ 本資料は、教育芸術社発行の令和2年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈102～602〉」に基づいて作成されています。（用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。）

### 【本資料の扱い方について】

- ・ 扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・ 本資料では、基本、1時間当たり1～2項目に精選して評価規準を示しています。

### 【2学期制への対応について】

- ・ 本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

※新型コロナウイルスの感染防止に向けた緊急事態宣言による休校等の影響に対する資料については、弊社HPの「臨時休校に伴う4月以降の授業対応について【小学校】」の内容もあわせてご覧ください。

題材名	1. 音楽で心をつなげよう	扱い時数のめやす <b>2時間</b>
題材の目標	(1) 歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりについて気付き、自然で無理のない声で歌ったり友達とリズムをつなげて演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方や、手拍子のリズムの選び方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3) 友達と声を合わせて歌ったり、手拍子のリズムをつなげたりする学習に進んで取り組み、友達と協働して音楽活動する楽しさを味わう。	
題材の意図		
<p>小学校生活2年間を過ごし、3年生となった子供たちは、中学年として新たな学校生活のスタートを切ります。この学年はクラス替えが多くみられ、新しい友達との出会いがあることでしょう。</p> <p>学年当初の本題材は、これから始まる3年生の音楽の授業に、子供たちが進んで取り組むことができるようにするため、友達と声を合わせて歌ったり拍にのってリズムを打ったりする学習を展開します。</p> <p>歌唱教材「友だち」では、この時期の子供たちの心情をよく表している歌詞を基に、友達への思いを込めて、学級全員で声を合わせて歌う楽しさを味わいます。</p> <p>「リズムでなかよくなるう」では、2年生までに積み重ねたリズムの学習を楽しみながら復習し、さらにその力を土台にして、指導者や友達が打つリズムを模倣する活動を通して拍節感やリズム感を育てます。この学習を常時活動として扱い、少しずつ積み重ねることにより、合わせて歌ったり演奏したりする技能を高めたり、リズムを中心とした音楽づくりに生かせる発想を得たりすることにもつながります。</p>		
学習指導要領との関連		
A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)、ウ(ウ) (3)音楽づくりア(ア)、イ(イ)、ウ(ウ) [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア リズム、旋律、拍		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組みです。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて気付き、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	①歌唱表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら、前半と後半の曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①友達と協働して、声を合わせて歌ったりリズムを合わせて手拍子を打ったりする学習に進んで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
友だちへの思いをこめて歌いましょう。	○友だち (そだてよう)リズムでなかよくなるう	1   2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●曲想と歌詞の内容や旋律の特徴との関わりについて気付いて歌う。</li> <li>●拍にのって、リズムを手拍子で打つ。</li> <li>●曲想に合った表現を工夫し、自然で無理のない歌い方で歌う。</li> <li>●拍にのって、リズムを選んでつなげ方を工夫して打つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて気づき、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技① 演奏聴取】</li> <li>◆歌唱表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら、前半と後半の曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 行動観察, 発言内容, 演奏聴取】</li> <li>◆友達と協働して、声を合わせて歌ったりリズムを合わせて手拍子を打ったりする学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 演奏聴取, 行動観察】</li> </ul>

題材名	2. 歌って音の高さをかんじとろう	扱い時数のめやす
		6時間
題材の目標	<p>(1) 旋律や音階などと曲想との関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て演奏したり呼吸や発音の仕方に気を付けて歌ったりする技能や、即興的に旋律をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) ハ長調の読譜を習得したり旋律の特徴を生かしたりしながら、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 友達と一緒に声や音を合わせて表現したり聴き合ったりしながら、音の高さを感じて表現する学習に進んで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>学習指導要領において、低学年ではリズム譜を見て演奏することが求められ、それ以外の楽譜を見て演奏することについては求められていないため、範唱をまねて歌う模唱や、旋律を階名でまねて模唱したり暗唱したりする階名模唱や階名暗唱を中心に学習を重ねてきました。</p> <p>3年生からは、低学年で身に付けてきた音程感覚をさらに高めるとともに、ハ長調の楽譜を見て歌詞や階名で歌ったり楽器を演奏したりする視唱や視奏の活動を段階的に進めていくこととなります。</p> <p>この題材では、ハ長調でつくられた教材を取り上げています。明るい歌声で歌う学習を通して、楽譜を見て歌ったり演奏したりする活動に慣れ親しむことができるように進めていきましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱<b>ア</b>、<b>イ</b>、<b>ウ</b>(<b>ア</b>)(<b>イ</b>)(<b>ウ</b>) (2)器楽<b>ア</b>、<b>イ</b>(<b>ア</b>)(<b>イ</b>)、<b>ウ</b>(<b>ア</b>)(<b>イ</b>)(<b>ウ</b>) (3)音楽づくり<b>ア</b>(<b>ア</b>)、<b>イ</b>(<b>イ</b>)、<b>ウ</b>(<b>ウ</b>)</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、<b>旋律</b>、音階、拍</li> <li>イ 音楽の縦と横との関係</li> </ul> </li> <li>・音符、休符、記号や用語 <ul style="list-style-type: none"> <li>ト音記号、五線と加線、縦線、終止線、小節、ブレス</li> </ul> </li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①ハ長調の楽譜を見て表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</p> <p>②旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③旋律の音のつなげ方の特徴に気付き、提示された音に基づいて、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p>	<p>①曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付いたことを生かしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②旋律や音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、歌声と楽器の音の重ね方を工夫し、どのように声や音を合わせて表現するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①旋律の特徴に気付いたり、ハ長調の楽譜を見て演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p>

「茶つみ」の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>曲想と歌詞の内容や旋律の特徴、フレーズとの関わりについて気付き、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>旋律や拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>曲想と歌詞の内容や旋律の特徴、フレーズとの関わりについて興味・関心をもち、自然で無理のない歌い方で歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>

※「茶つみ」は、学習内容や季節を考慮し、5月に「心の歌」として歌えるように示しています。

また、前題材の「春の小川」と比較しながら曲想にふさわしい表現の工夫をしたり、拍ののって歌ったりする学習を生かして、題材4、6の学習と関連付けることができます。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音の高さに気をつけながら、歌ったりひいたりしましょう。	○◇ドレミで歌おう	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハ長調の楽譜に興味をもつ。</li> <li>●楽譜を見ながら階名視唱する。</li> <li>●楽譜に親しみながら演奏をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ハ長調の楽譜を見て表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</li> <li>【技① 演奏聴取】</li> </ul>
音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。	(共)春の小川	2  3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●曲想と歌詞の内容との関わり気付く。</li> <li>●旋律の特徴に気付いて歌う。</li> <li>●音の高さに気を付けて、階名視唱する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●曲想や歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫する。</li> <li>●歌声に気を付けて歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。</li> <li>【知・技② 演奏聴取, 表情観察】</li> <li>◆曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付いたことを生かしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</li> <li>【思・判・表① 発言内容】</li> </ul>
楽器と合わせて、明るい声で歌いましょう。	○◇海風きって ☆せんりつづくり	4  5  6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>ア</b>と<b>イ</b>の旋律の特徴に気付く。</li> <li>●音の高さに気を付けて階名視唱し、鍵盤楽器で演奏する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●いろいろな音のつなげ方を試し、旋律づくりをする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>ア</b>と<b>イ</b>の旋律を重ね、演奏を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆旋律の特徴に気付いたり、ハ長調の楽譜を見て演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>【態① 発言内容, 行動観察】</li> <li>◆旋律の音のつなげ方の特徴に気付き、提示された音に基づいて、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</li> <li>【知・技③ 演奏聴取, 行動観察, 記述内容】</li> <li>◆旋律や音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、歌声と楽器の音の重ね方を工夫し、どのように声や音を合わせて表現するかについて思いや意図をもっている。</li> <li>【思・判・表② 演奏聴取, 発言内容】</li> </ul>

曲のかんじを生かして歌いましょう。	(共)茶つみ	1  2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歌詞の表す情景を思い浮かべ、曲全体の雰囲気をつかむ。</li> <li>●旋律の特徴に気付いて歌う。</li> <li>●拍にのって、手遊びをしながら歌う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●拍や旋律のまとまりに気を付け、手遊びをしながら歌う。</li> <li>●曲想にふさわしい表現を工夫して歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆曲想と歌詞の内容や旋律の特徴、フレーズとの関わりについて気付き、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</li> <li>【知・技 発言内容, 演奏聴取】</li> <li>◆曲想と歌詞の内容や旋律の特徴、フレーズとの関わりについて興味・関心をもち、自然で無理のない歌い方で歌う学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>【態 発言内容, 演奏観察】</li> <li>◆旋律や拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</li> <li>【思・判・表 演奏聴取, 発言内容】</li> </ul>
-------------------	--------	------------	---	--

※「茶つみ」は、学習内容や季節を考慮し、5月に「心の歌」として歌えるように示しています。  
また、前題材の「春の小川」と比較しながら曲想にふさわしい表現の工夫をしたり、拍にのって歌ったりする学習を生かして、題材4, 6の学習と関連付けることができます。

題材名	3. リコーダーのひびきをかんじとろう	扱い時数のめやす <b>6時間</b>
題材の目標	(1) リコーダーの音色などと曲想との関わりについて気付き、リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付ける。 (2) リコーダーの演奏に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、リコーダーの響きと曲想との関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) リコーダーの演奏に興味・関心を持ち、互いの音を聴き合いながら演奏する学習に進んで取り組む。	
題材の意図	<p>前の題材から始まったハ長調の学習とともに、3年生において重要な学習の一つであるリコーダーの学習が始まります。</p> <p>この題材ではその導入として、楽器の支え方や運指、音の出し方や息づかいなどの基本的な演奏の仕方について、左手の運指のみで演奏できるシ、ラ、ソ、ド、レの五つの音を使った教材を用いながら、段階的に学習を進めていきます。</p> <p>指導に当たっては、子供たちが知っているリコーダー曲「ピタゴラスイッチ」の鑑賞の学習をきっかけに、リコーダーやその音色への興味・関心を引き出します。そして、いろいろなリズムでシの音を演奏したり、身近なものの音まね遊びをしたりしながら、基礎的な演奏の仕方を楽しく学んでいきます。また、演奏家やキャラクターによるワンポイントアドバイスを掲載し、子供たちが主体的に学習を進められるようにしています。</p>	
学習指導要領との関連	A表現 (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ) B鑑賞 ア, イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア <b>音色</b> , リズム, 旋律 ・音符, 休符, 記号や用語 付点2分音符, 付点4分音符	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①リコーダーの音色と曲想との関わりについて気付いている。 ②リコーダーの音色や響きとタンギングや息の強さなど、演奏の仕方との関わりについて気付き、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③音色やリズム、旋律と曲想との関わりについて気付き、タンギングや息の強さなど、音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。	①リコーダーの音色や旋律の変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ②リコーダーの音色や旋律の特徴、リズムと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	①リコーダーの音色に興味・関心を持ち、息の強さや運指に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
リコーダーに親しみましよう。	♪ピタゴラスイッチ ♪小鳥のために	1	●リコーダーの音色に興味をもつ。	◆リコーダーの音色と曲想との関わりについて気付いている。 【知① 発言内容, 行動観察】
リコーダーのえんそうのしかたをおぼえましよう。 リコーダーでシの音をふきましよう。	◇練習1・2・3・4(シ)	2	●音色に気を付けながら、シの音を吹く。	◆リコーダーの音色や響きとタンギングや息の強さなど、演奏の仕方との関わりについて気付き、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技② 行動観察, 演奏聴取】
ラとソの運指をおぼえて、 きれいな音でふきましよう。	◇練習1(シ・ラ) / 練習2(シ・ラ・ソ) / きれいな ソラシ ♪きらきら星	3          4	●「きらきら星」を聴き、リコーダーの音色や旋律の変化を楽しむ。   ●練習①で、音色や運指に気を付けてシとラの音を吹く。  ●3音の運指を練習し、「きれいな ソラシ」を演奏する。	◆リコーダーの音色や旋律の変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 行動観察, 発言内容】  ◆リコーダーの音色に興味・関心をもち、息の強さや運指に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 演奏聴取】
歌うようにリコーダーをふきましよう。	◇坂道/雨上がり/ アチャ パチャ ノチャ	5       6	●ドとレの運指を練習し、「坂道」「雨上がり」をリコーダーで演奏する。   ●「アチャ パチャ ノチャ」をリコーダーで演奏する。	◆音色やリズム、旋律と曲想との関わりについて気付き、タンギングや息の強さなど、音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技③ 演奏聴取】  ◆リコーダーの音色や旋律の特徴、リズムと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 演奏聴取, 発言内容】

題材名	4. 拍にのってリズムをかんじとろう	扱い時数のめやす
		5 時間
題材の目標	(1) 拍子やリズムの特徴などと曲想との関わりについて気付き、拍にのって表現する技能や、反復や変化を用いてまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。 (2) 拍子やリズム、旋律の特徴を捉えた表現や、どのようにまとまりを意識したリズムをつくるかについて、思いや意図をもつ。 (3) 拍子やリズムの特徴が生み出すよさや面白さを感じ取り、それらを生かして表現したり、友達と協働してまとまりのあるリズムをつくったりする学習に進んで取り組む。	
題材の意図		
<p>この題材では、低学年で身に付けてきた拍やリズムに対する感覚、またそれらを表現するための能力をより伸ばしていくことに重点を置いて学習を進めていきます。</p> <p>拍を感じ取りながら、音や気持ちを合わせて演奏する活動は、高学年に向けて、息の合った美しい合唱や合奏に取り組むうえで大切な基礎となるものです。</p> <p>リズムの特徴が異なるパートを合わせて表現することや、「三三七拍子」のリズムを基に、反復や変化を生かして音楽をつくる学習を通して、拍やまとまりのあるリズムが生み出す面白さを感じ取りながら、思いや意図をもって表現していきます。</p> <p>各教材の学習において、友達と拍を共有しながら表現することを大切に、必要に応じて、題材1の常時活動「リズムでなかよくなる」を活用し、子供たちの主体性を引き出しながら学習を進めていきましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア), ウ(ア)(イ)(ウ) (3)音楽づくりア(ア)(イ), イ(イ), ウ(ア)(イ) [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア リズム, 旋律, 拍 イ 反復, 変化 ・音符, 休符, 記号や用語 4分の2拍子		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①拍子やリズム、旋律と曲想との関わりについて気付いている。 ②思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴いて、友達と音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③リズムのつなげ方の特徴に気付き、反復や変化を生かしてまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。	①拍子やリズム、旋律と曲想との関わりから気付いたことを生かして、旋律の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。 ②リズムの反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、4分音符と8分音符のリズムの組合せを工夫し、どのように反復と変化を生かしたまとまりのあるリズムをつくるかについて、思いや意図をもっている。	①拍子やリズム、旋律と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、互いの音を聴き合って演奏する学習に進んで取り組もうとしている。

「うさぎ」の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて気付き、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	日本に古くから伝わる歌の旋律と曲想との関わりから気付いたことを生かして、曲想にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて、思いや意図をもっている。	日本に古くから伝わる歌の旋律と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、曲想にふさわしい表現を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。

※「うさぎ」は、学習内容や季節を考慮し、9月に「心の歌」として歌えるように示しています。



学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
2拍子にのってえんそうしましょう。	◇○ゆかいな木きん	1  2  3	●拍を感じ取りながら歌ったり演奏したりする。  ●音楽の仕組みを感じ取って、主な旋律を演奏する。 ●各パートのリズムの違いを感じ取って、演奏の仕方を工夫する。  ●互いの音を聴き合いながら、拍にのって演奏を楽しむ。	◆拍子やリズム、旋律と曲想との関わりについて気付いている。 【知① 行動観察, 発言内容, 演奏聴取】  ◆拍子やリズム、旋律と曲想との関わりから気付いたことを生かして、旋律の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。 【思・判・表① 発言内容, 演奏聴取】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴いて、友達と音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技② 演奏聴取】 ◆拍子やリズム、旋律と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、互いの音を聴き合って演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 演奏聴取】
くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくりましょう。	☆手拍子でリズム	4  5	●まとまりのあるリズムの仕組みに気付く。 ●まとまりのあるリズムの仕組みを使って、4小節のリズムをつくる。  ●グループのリズムの音楽をつくる。	◆リズムの反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、4分音符と8分音符のリズムの組合せを工夫し、どのように反復と変化を生かしたまとまりのあるリズムをつくるかについて、思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容, ワークシート, 演奏聴取】  ◆リズムのつなげ方の特徴に気付き、反復や変化を生かしてまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 【知・技③ 演奏聴取】

日本に古くからつたわる曲のふんいきをかんじとって歌いましょう。	(共)うさぎ	1	●歌詞や範唱から、曲想をつかんで歌う。  ●曲想にふさわしい歌い方で歌う。	◆日本に古くから伝わる歌の旋律と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、曲想にふさわしい表現を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態 発言内容, 表情観察, 行動観察】 ◆旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて気付き、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技 演奏聴取】 ◆日本に古くから伝わる歌の旋律と曲想との関わりから気付いたことを生かして、曲想にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて、思いや意図をもっている。【思・判・表 発言内容, 演奏観察】
---------------------------------	--------	---	---	---

※「うさぎ」は、学習内容や季節を考慮し、9月に「心の歌」として歌えるように示しています。

題材名	5. せんりつのとくちょうをかんじとろう	扱い時数のめやす <b>7時間</b>
題材の目標	<p>(1) 音の上がり下がりやフレーズなどの旋律の特徴、拍子や強弱と曲想との関わりについて気づき、それらを生かすために必要な表現の技能を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて考え、声の強さや出し方を工夫したりフレーズを意識したりしながら、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 旋律の特徴を生かした表現を工夫しながら、友達と協働して表現する学習に進んで取り組む。</p>	
題材の意図	<p>この題材では、低学年から育ててきた音楽に対する感性を高めながら、音楽を特徴付けている要素の一つである旋律に着目し、その特徴を感じ取ったり、その特徴によって生み出される曲想を捉えたりしながら学習を進めていきます。</p> <p>学習を進めるに当たっては、音楽に合わせた体の動きや楽譜上の音符を手掛かりにして、旋律の特徴や、音の上がり下がりが生み出す曲の山を感じ取ったり、歌詞の表す様子と感じ取った旋律の特徴との関わりを考えたりしながら、それを生かした歌い方を工夫していきます。</p> <p>その際、歌詞の内容やフレーズを基に、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能や、互いの歌声や音を聴き合いながら演奏する技能も育てていきましょう。</p> <p>また、4分の4拍子や4分の3拍子といった拍子の違いも、曲想と関わりがあることに気付くことができるように、記号の学習と音楽活動とを関連させながら、学習するようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ)</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 旋律, 強弱, 拍, フレーズ</li> <li>・音符, 休符, 記号や用語 4分の4拍子, 4分の3拍子, タイ</li> </ul>	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①旋律の特徴や拍と曲想との関わりについて気付いている。</p> <p>②音の上がり下がりやフレーズなどの旋律の特徴と曲想との関わりについて気づき、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</p> <p>③音の上がり下がりなどの旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて気づき、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>①旋律の特徴や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌声や楽器の音の重ね方などを工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②旋律の特徴や拍子と曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③旋律の特徴や歌詞の内容、強弱の変化などと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①音の上がり下がりなどの旋律の特徴と曲想との関わりについて興味・関心をもち、重なり合う音色の響きに気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②旋律の特徴や拍子と曲想との関わりが生み出すよさや面白さへの興味・関心をもち、それらの特徴を生かした歌い方の学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③曲の山を生かして、歌詞の内容や旋律の特徴が生み出す曲想にふさわしい表現を工夫する学習に進んで取り組み、旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて興味・関心を深めようとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつの音の上がり下がりをかんじとって歌いましょう。	○とどけよう このゆめを	1  2	●曲想をつかみ、旋律の特徴や拍と曲想との関わりに気付く。  ●曲想の変化や、歌声とリコーダーの音が重なり合う響きを楽しむ。	◆旋律の特徴や拍と曲想との関わりについて気付いている。 【知① 表情観察, 演奏聴取, 発言内容】  ◆音の上がり下がりなどの旋律の特徴と曲想との関わりについて興味・関心をもち、重なり合う音色の響きに気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 発言内容, 演奏聴取】 ◆旋律の特徴や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌声や楽器の音の重ね方などを工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 発言内容, 演奏聴取】
せんりつのとくちょうを生かしてえんそうしましょう。	○◇あの雲のように	3  4  5	●旋律の音の上がり下がりを感じ取りながら歌う。 ●旋律の特徴を生かした歌い方を工夫する。  ●音の上がり下がりを感じ取りながら、旋律の特徴を生かして演奏を工夫する。  ●3拍子にのり、旋律の特徴を生かして演奏する。	◆旋律の特徴や拍子と曲想との関わりが生み出すよさや面白さへの興味・関心をもち、それらの特徴を生かした歌い方の学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 表情観察, 行動観察】  ◆旋律の特徴や拍子と曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容, 表情観察, 演奏聴取】  ◆音の上がり下がりやフレーズなどの旋律の特徴と曲想との関わりについて気づき、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知・技② 演奏聴取, 表情観察, 発言内容】
曲の山をかんじながら歌いましょう。	(共)ふじ山	6  7	●曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりに気づき、情景を思い浮かべて歌う。  ●旋律の特徴や歌詞の内容に合う表現を工夫し、情景を思い浮かべて歌う。	◆音の上がり下がりなどの旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて気づき、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技③ 演奏聴取, 表情観察】  ◆旋律の特徴や歌詞の内容、強弱の変化などと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③ 発言内容, 演奏聴取, 表情観察】 ◆曲の山を生かして、歌詞の内容や旋律の特徴が生み出す曲想にふさわしい表現を工夫する学習に進んで取り組み、旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて興味・関心を深めようとしている。 【態③ 発言内容, 表情観察, 演奏聴取】

題材名	6. 曲のかんじを生かそう	扱い時数のめやす
		<b>6 時間</b>
題材の目標	(1) 音色, リズム, 旋律や歌詞の内容と曲想との関わりについて気付き, それらを生かして表現するための技能を身に付ける。 (2) 楽器の音色, 旋律の反復や変化が生み出す曲のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり, 曲の特徴を捉えた表現について思いや意図をもったりする。 (3) 楽器の音色, 旋律の反復や変化が生み出す曲想の違いを味わって聴いたり, 曲想にふさわしい表現の仕方を工夫して歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組む。	
題材の意図		
<p>前題材に引き続き, 旋律に焦点を当てながら, 曲想との関わりを考えて表現や鑑賞を深める学習を行います。</p> <p>鑑賞の学習では, 旋律の音の上がり下がりやリズムの違いが生み出す特徴を聴き取ったり, <b>ア</b>→<b>イ</b>→<b>ア</b>といった曲のまとまりに気付いたりしながら, 曲全体を見通して味わって聴くことができるようにします。</p> <p>器楽の学習では, 拍子やリズムに注目しながら軽やかな踊りの音楽がもつ特徴を捉えて, タンギングや息の強さを工夫して演奏することができるようにします。これは4年生でスタカートやレガートの特徴を生かした表現の工夫につながる学習です。</p> <p>さらに, 歌唱の学習では, 歌詞の表す内容や, 旋律の反復や伴奏の変化が生み出す曲想の変化を感じ取って, それを歌い方の工夫に結び付けていきます。</p>		
学習指導要領との関連		
A表現 (1)歌唱 <b>ア</b> , <b>イ</b> , <b>ウ</b> (イ) (2)器楽 <b>ア</b> , <b>イ</b> (ア)(イ), <b>ウ</b> (ア)(イ) B鑑賞 <b>ア</b> , <b>イ</b> [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <b>ア</b> 音色, リズム, <b>旋律</b> <b>イ</b> 反復, 変化 ・音符, 休符, 記号や用語 全音符		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, **ア**は音楽を特徴付けている要素, **イ**は音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①曲想やその変化と, リズムや旋律との関わりについて気付いている。 ②リコーダーの音色や響きと, タンギングや息の流れなど演奏の仕方との関わりについて気付き, 音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③曲想と旋律の反復や変化, 歌詞の内容との関わりについて気付き, 呼吸や発音の仕方に気を付けて, 自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	①音色やリズム, 旋律などと曲想との関わりについて考え, 体を動かすなどして曲や演奏のよさなどを見いだし, 曲全体を味わって聴いている。 ②音色やリズム, 旋律などと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ③旋律の反復や変化, 音色, リズムなどを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 曲の特徴を捉えた表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①楽器の音色や旋律の反復や変化が生み出す曲のよさを感じ取りながら, 聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ②曲想と楽器の音色やリズム, 旋律との関わりが生み出す曲や演奏のよさなどを感じ取りながら, 曲想に合った表現を工夫して演奏する学習に進んで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲のかんじを味わってききましょう。	♪メヌエット	1  2	●旋律の特徴を感じ取って聴く。 ● <b>ア</b> と <b>イ</b> の旋律について、音の上がり下がりやリズムに気をつけて聴く。  ●バイオリンの音色や曲全体を味わって聴く。	◆曲想やその変化と、リズムや旋律との関わりについて気付いている。 【知① 発言内容, 行動観察, ワークシート】  ◆音色やリズム, 旋律などと曲想との関わりについて考え, 体を動かすなどして曲や演奏のよさなどを見だし, 曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 発言内容, ワークシート】 ◆楽器の音色や旋律の反復や変化が生み出す曲のよさを感じ取りながら, 聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, ワークシート】
曲のかんじに合ったふき方をくふうしてえんそうしましょう。	◇山のポルカ／練習(ソ・ファ・ミ)	3  4	●旋律やリズムの特徴を聴き取り, 運指や音色に気を付けてリコーダーで演奏する。  ●旋律の特徴に合う表現を工夫して, リコーダーで演奏する。	◆リコーダーの音色や響きと, タンギングや息の流れなど演奏の仕方との関わりについて気付き, 音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技② 演奏聴取, 行動観察】  ◆音色やリズム, 旋律などと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 行動観察, 発言内容】 ◆曲想と楽器の音色やリズム, 旋律との関わりが生み出す曲や演奏のよさなどを感じ取りながら, 曲想に合った表現を工夫して演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 行動観察, ワークシート】
歌詞の表す様子を思いうかべながら, 曲のかんじを生かして歌いましょう。	○帰り道	5  6	●歌詞の表す様子を思い浮かべ, 曲の雰囲気を感じ取る。 ●曲全体の旋律の特徴に気付いて歌う。  ●曲想や歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫する。	◆曲想と旋律の反復や変化, 歌詞の内容との関わりについて気付き, 呼吸や発音の仕方に気を付けて, 自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技③ 行動観察, 演奏聴取】  ◆旋律の反復や変化, 音色, リズムなどを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 曲の特徴を捉えた表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③ 行動観察, 演奏聴取, ワークシート】

題材名	7. いろいろな音のひびきをかんとろう	扱い時数のめやす
		9 時間
題材の目標	<p>(1) 楽器の音色やその組合せ、旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き、楽器の音色の特徴を生かして互いの音を聴き合いながら演奏したり、楽器の組合せや音の重ね方を生かして音楽をつくったりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) 楽器の音色や旋律の特徴が生み出すよさなどを見いだしながら聴いたり、楽器の音色を生かした演奏の仕方や、音の重ね方や反復など音楽の仕組みを用いた音楽のつくり方について、思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 楽器の音色や旋律の特徴に着目し、曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴いたり、楽器の音色の特徴を生かして互いの音を聴き合いながら演奏したり、楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくったりする学習に進んで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>本題材では、音色を中心に、旋律や音の重なり、音楽の仕組みとの関わりを取り上げながら、表現と鑑賞の学習を進めます。</p> <p>鑑賞の学習においては、旋律が反復される曲の特徴を捉えるとともに、金管楽器の音色に着目して、それぞれの楽器の固有の音色の美しさも味わって音楽を聴くことができるようにします。</p> <p>また、器楽の学習においては、リコーダーや鉄琴、低音楽器など異なる音色の楽器が重なり合う響きを味わうとともに、互いの音を聴き合いながら演奏することができるようにします。学校や子供の実態に応じて、リコーダーの低いレとドの運指は確認するだけにとどめて、2のパートは省略することを考えてもよいでしょう。</p> <p>音楽づくりの学習に当たっては、身近な打楽器の音色の違いを感じ取ったり、音の重ね方による響きの違いに気付いたりしながら、表現の仕方を工夫してきた学習経験を踏まえ、ここでは自分なりのイメージやアイデアを基に打楽器の音の響きやその組合せを試したり、それらの組み合わせ方や重ね方を工夫したりしながら、音楽の仕組みを生かした音楽づくりの学習を展開します。音や言葉によるコミュニケーションを用いて、自分の発想を友達と共有したり、友達の発想から自分の音楽を見直したりしながら、音楽づくりの発想を広げていくようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(イ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>(3)音楽づくりア(ア)(イ), イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)</p> <p>B鑑賞 ア, イ</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア 音色, 旋律, 強弱, 音の重なり, 拍</li> <li>イ 反復</li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①楽器の音色の違い、旋律の特徴や反復と曲想との関わりについて気付いている。</p> <p>②音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③音色や音の重なり、旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④いろいろな楽器の響きやそれらの組合せ、音の重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。</p> <p>⑤思いや意図に合った表現をするために必要な、音の重ね方や反復などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて「まほうの音楽」をつくっている。</p>	<p>①音色や旋律の特徴、音の重なり、拍と曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、パートの特徴を捉えて演奏の仕方や音量のバランスなどを工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。</p> <p>②音色やその重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、楽器の音の重ね方や反復の仕方などを工夫し、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①音色や旋律などの特徴と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、音色の違いを感じ取る学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて興味・関心を持ち、音色の違いや音の重なりを感じ取る学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて考えながら、歌詞の内容が表す場面にふさわしい歌い方を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④楽器の音の特徴や音色を生かした即興的な表現に進んで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
トランペットとホルンのひびきに親しみましょう。	♪トランペットふきの休日／アレグロ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トランペットとホルンの音色の違いに関心をもつ。</li> <li>●旋律の反復に気を付けて音楽を聴き、トランペットの音の特徴を感じ取る。</li> <li>●旋律の反復に気を付けて音楽を聴き、ホルンの音の特徴を感じ取る。</li>   <li>●トランペットとホルンの音色を楽しんで聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆音色や旋律などの特徴と曲想との関わりについて興味・関心をもち、音色の違いを感じ取る学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>【態① 行動観察, 発言内容, ワークシート】</li> <li>◆楽器の音色の違い, 旋律の特徴や反復と曲想との関わりについて気付いている。</li> <li>【知① 行動観察, ワークシート】</li> </ul>
重なり合う音のひびきをかんとりながらえんそうしましょう。	◇パフ	2  3  4  5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拍にのり, 音色に気を付けて主な旋律を演奏する。</li>   <li>●拍にのり, 主な旋律と副次的な旋律を演奏する。</li>   <li>●重なり合う楽器の音の響きに気を付けて, 合奏を工夫する。</li>   <li>●合奏の響きを互いに聴き合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き, 音色や響きに気を付けて, リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。</li> <li>【知・技② 行動観察, 演奏聴取】</li> <li>◆音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて興味・関心をもち, 音色の違いや音の重なりを感じ取る学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>【態② 行動観察】</li> <li>◆音色や旋律の特徴, 音の重なり, 拍と曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら, パートの特徴を捉えて演奏の仕方や音量のバランスなどを工夫し, どのように演奏するかについて, 思いや意図をもっている。</li> <li>【思・判・表① 行動観察, 演奏聴取】</li> <li>◆音色や音の重なり, 旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き, 互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</li> <li>【知・技③ 行動観察, 演奏聴取】</li> </ul>
「まほうの音楽」を入れて歌いましょう。	○おかしなすきな まほう使い	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歌詞が表す場面を思い浮かべながら歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて考えながら, 歌詞の内容が表す場面にふさわしい歌い方を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>【態③ 行動観察, 演奏聴取】</li> </ul>
音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。	☆まほうの音楽	7  8  9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いろいろな楽器を鳴らして, 「まほうの音楽のもと」をつくる。</li>   <li>●音の組み合わせ方や重ね方を工夫して, 「まほうの音楽」をつくる。</li>   <li>●グループの「まほうの音楽」を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆楽器の音の特徴や音色を生かした即興的な表現に進んで取り組もうとしている。</li> <li>【態④ 行動観察, 発言内容, ワークシート】</li> <li>◆いろいろな楽器の響きやそれらの組合せ, 音の重ね方の特徴について, それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。</li> <li>【知④ 発言内容, 演奏観察】</li> <li>◆音色やその重なりを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 楽器の音の重ね方や反復の仕方などを工夫し, 音を音楽へと構成することを通して, どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</li> <li>【思・判・表② 行動観察, ワークシート, 演奏聴取】</li> <li>◆思いや意図に合った表現をするために必要な, 音の重ね方や反復などの音楽の仕組みを用いて, 音楽をつくる技能を身に付けて「まほうの音楽」をつくっている。</li> <li>【技⑤ 演奏聴取, ワークシート】</li> </ul>

題材名	8. ちいきにつたわる音楽でつながろう	扱い時数のめやす <b>5時間</b>
題材の目標	(1) 日本の楽器の音色やリズムなどと曲想との関わりについて気付き、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付ける。 (2) 日本の楽器の音色やリズムなどの特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を聴いたり、旋律の音の動きや始め・終わりの音に着目した旋律のつくり方について思いや意図をもったりする。 (3) 祭り囃子を聴いたり、友達と協働して旋律をつくったりする学習を通して、郷土に伝わる音楽や楽器の音への興味・関心を高める。	
題材の意図		
<p>この題材では、音色に注目しながらお祭りの音楽を鑑賞し、郷土に伝わる音楽に親しみながら、その雰囲気や特徴を感じ取ることができるように学習を進めていきます。一部の楽器のパートを口唱歌で歌う体験を通して感じたことや気付いたことを発表し合うことで、より親しみをもってお囃子の音楽を聴くことができるように教科書は構成されています。3年生の子供たちが、郷土に伝わる音楽のよさや特徴に気付き、親しみをもてるようにしましょう。</p> <p>また、音楽づくりの学習では、ハ長調の音階の旋律とは異なる雰囲気を感じ取りながら、ラ、ド、レの三つの音を使った旋律づくりを行います。教科書では、リコーダーの習熟を兼ねて、リコーダーを用いて旋律をつくる学習を示していますが、地域や学校の実態に応じて、篠笛や箏など和楽器を用いて展開することも考えられます。子供たちの興味・関心を引き出しながら学習を進められるように、地域との連携も考えていくようにしましょう。</p> <p>この旋律づくりの学習は、4年生では五つの音、5年生では日本の音階の音を使った旋律づくりの学習へとつながっていきます。</p>		
学習指導要領との関連		
A表現 (2)器楽ア, イ(イ), ウ(イ) (3)音楽づくりア(ア)(イ), イ(イ), ウ(ア) B鑑賞 ア, イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色, リズム, 速度, 旋律, 拍 イ 呼びかけとこたえ		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組みです。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①日本の楽器の音色や響きの特徴、リズムと曲想との関わりについて気付いている。 ②締太鼓の音色やリズム、速度と曲想との関わりについて気付いている。 ③音のつなげ方によって旋律の特徴や感じが変わる面白さに気付き、三つの音とリズムを使って、即興的に音を選んで表現する技能を身に付けてつくっている。	①音色やリズム、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 ②旋律や拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、即興的に音やフレーズのつなげ方を工夫し、音楽づくりの発想を得ている。	①お囃子で使われる楽器の音色やリズムの特徴などと曲想との関わりについて興味・関心をもち、郷土に伝わる音楽のよさや面白さ、美しさを感じ取って聴く活動に進んで取り組んでいる。 ②お囃子の旋律づくりに興味・関心をもち、ラ、ド、レの三つの音を使って旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。



学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の扱い 目安 回数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
祭りばやしに親しみましょう。	♪祇園囃子／ねぶた囃子	1	●二つのお囃子の雰囲気を感じ取る。 ●体を動かしながら、お囃子の雰囲気に親しんで聴く。	◆日本の楽器の音色や響きの特徴、リズムと曲想との関わりについて気付いている。 【知① 行動観察、発言内容、ワークシートの記述】
祭りばやしのとくちょうをかんじとりましょう。	♪神田囃子「投げ合い」 (チャレンジ)たいこにちょうせん！！	2   3	●お囃子の特徴を感じ取る。  ●唱歌(口唱歌)に挑戦し、お囃子のリズムに親しむ。  ●締太鼓の音に気を付けてお囃子を聴く。	◆お囃子で使われる楽器の音色やリズムの特徴などと曲想との関わりについて興味・関心を持ち、郷土に伝わる音楽のよさや面白さ、美しさを感じ取って聴く活動に進んで取り組んでいる。 【態① 行動観察、発言内容】 ◆締太鼓の音色やリズム、速度と曲想との関わりについて気付いている。 【知② 行動観察、発言内容】 ◆音色やリズム、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 発言内容、ワークシート】
3つの音で、おはやしのせんりつをつくりましょう。	☆ラドレの音でせんりつづくり	4   5	●拍を感じながら、ラ、ド、レの三つの音で旋律遊びをする。  ●三つの音でお囃子の旋律をつくる。  ●つくった旋律を使って、つくった旋律をリレーして楽しむ。	◆お囃子の旋律づくりに興味・関心を持ち、ラ、ド、レの三つの音を使って旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 行動観察】 ◆音のつなげ方によって旋律の特徴や感じが変わる面白さに気付き、三つの音とリズムを使って、即興的に音を選んで表現する技能を身に付けてつくっている。 【知・技③ 演奏聴取】 ◆旋律や拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、即興的に音やフレーズのつなげ方を工夫し、音楽づくりの発想を得ている。 【思・判・表② 行動観察、発言内容】

題材名	9. 音の重なりをかんじて合わせよう	扱い時数のめやす
		<b>7時間</b>
題材の目標	(1) 旋律の重なりや特徴、強弱、フレーズなどと曲想との関わりについて気付き、それらを生かした歌い方や演奏の仕方の技能を身に付ける。 (2) 旋律の重なりや特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、旋律の反復やその重なりが生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 友達と声や音を合わせて表現の仕方を工夫したり、旋律が重なり合うよさなどを感じて聴いたりする学習に進んで取り組む。	
題材の意図		
<p>3年生最後の本題材では、歌声や楽器の音が重なり合うことで生まれる響きを感じ取り、それを基に、互いの歌声を聴き合いながら歌ったり、旋律や楽器の音が重なり合う面白さを味わいながら鑑賞したり合奏したりします。</p> <p>短い音型が繰り返されるオスティナートが加わった曲の教材性を生かして、旋律の重なり注目しながら表現と鑑賞の学習を進めます。歌唱教材では、“ランランラン”の音型を繰り返すことで簡単な二部合唱の体験をすることができるため、互いのパートの声を聴きながら声を合わせて歌う技能を育てていくようにしましょう。</p> <p>合奏教材は、「パフ」と同様な教材性をもっています。ここでは、音の重なりを楽しむことに加えて、旋律の特徴やフレーズを生かした演奏をするためにはどうしたらよいかを友達と考えながら、豊かな表現を目指しましょう。</p> <p>4年生へのステップアップとして、感じ取ったことや気付いたことなどを互いに発表し合い、音楽の楽しさや演奏のよさに気付く能力も伸ばしていくようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)(ウ) B鑑賞 ア, イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色, <b>旋律</b> , 強弱, <b>音の重なり</b> , フレーズ イ 反復		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①曲想やその変化と、旋律の重なりや反復との関わりについて気付いている。 ②旋律の重なりや強弱、反復と曲想との関わりについて気付き、互いの歌声や副次的な旋律を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ③楽器の音色や旋律、音の重なりと曲想との関わりについて気付き、音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ④思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	①旋律の重なりや強弱、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 ②音色や旋律、音の重なりと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音を合わせる表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	①旋律の重なりや反復と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、音程や発音の仕方などに気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 ②旋律の重なりや強弱、反復、変化と曲想との関わりについて考えながら、曲想の変化に気を付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ③楽器の音色の重なりなどと曲想との関わりについて興味・関心を持ち、友達と協働して、曲想に合った表現の工夫をし、互いの楽器の音を聴き合いながら合奏する学習に進んで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつの重なりを楽しみながら、歌ったりきいたりしましょう。	○歌おう 声高く ♪かね	1  2  3	●旋律の重なりに気を付けて聴く。 ●曲の特徴をつかんで、反復する旋律を歌う。  ●旋律の音の動きを感じ取って主な旋律を歌う。  ●互いの旋律を聴き合いながら、二つの旋律を重ねて歌う。  ●曲の構成に気付き、旋律が重なる面白さを感じ取って聴く。	◆曲想やその変化と、旋律の重なりや反復との関わりについて気付いている。 【知① 演奏聴取, 発言内容】  ◆旋律の重なりや反復と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、音程や発音の仕方などに気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 行動観察】 ◆旋律の重なりや強弱、反復と曲想との関わりについて気付き、互いの歌声や副次的な旋律を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技② 演奏聴取】  ◆旋律の重なりや強弱、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 発言内容, ワークシート】 ◆旋律の重なりや強弱、反復、変化と曲想との関わりについて考えながら、曲想の変化に気を付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 行動観察】
いろいろな楽器の音の重なりを楽しみながら合奏しましょう。	◇エーデルワイス	4  5  6  7	●範奏を聴いて、主な旋律の特徴をつかんで演奏する。  ●低音域の演奏の仕方に気を付けて、リコーダー2のパートを演奏する。  ●重なり合う音の響きに気を付けて、合奏を工夫する。  ●合奏の響きを互いに聴き合う。	◆楽器の音色の重なりなどと曲想との関わりについて興味・関心を持ち、友達と協働して、曲想に合った表現の工夫をし、互いの楽器の音を聴き合いながら合奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態③ 行動観察】  ◆楽器の音色や旋律、音の重なりと曲想との関わりについて気付き、音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技③ 演奏聴取】  ◆音色や旋律、音の重なりと曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音を合わせる表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 行動観察, 演奏聴取, 発言内容】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技④ 演奏聴取】